

仏教勉強会のご案内

「仏教に興味がある」「写経や写仏をやってみたい」「大松院にお参りしてみたい」という方はどうぞお気軽にご参加ください。

◇場所 大松院

さいたま市浦和区東高砂町19-4

◇日時 月1回 日曜日 午前10時半～12時

◇問合わせ先 大松院 担当 小林智観

☎048-882-9205

9月7日「写 仏」

10月5日「お釈迦様の言葉を読む」

11月9日「お釈迦様の言葉を読む」

12月14日「写 経」

2月8日「お釈迦様の言葉を読む」

3月8日「お釈迦様の言葉を読む」

※写経、写仏の道具はこちらで用意いたします。
※参加希望の方は、お手数ですが、左記にご連絡をお願いします。

◆大松院 ☎048-882-9205

◆霊 園 ☎048-812-1121



毎年12月1日（1日が休日の場合は、金融機関の翌営業日）に翌年分の年間管理費を引き落としさせていただきます。何らかの事情でお引き落としできなかった場合は、管理事務所からお知らせをお届けしております。その際には、ご案内の口座にお振込みいただくか、管理事務所まで直接お支払いいただきますようお願いいたします。

【ゴミ置き場について】

さいたま市のゴミ処理方法の変更に伴い、ゴミ置き場は管理事務所の正面1カ所のみとさせていただきます。

皆様にはお参りの際、ご不便をおかけして申し訳ございません。ごみの分別にご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。



【酷暑期のお墓参りにについて】

この時期は、お墓に食べ物をお供えすると、腐って異臭を放ったり、野生の動物を呼び寄せることとなります。お参りが終わったら、放置せずに必ずお持ち帰りください。
お花も一日で枯れてしまうことも多いため、お持ち帰りをお勧めしております。
35度以上になる日は、墓地は40度を超える気温になります。お墓参りをされる際は、虫よけ対策と、帽子や濡れタオルなど、熱中症対策をしっかり行い、ご来園下さい。

【お墓じまいのご相談について】

お墓を継いでくださる方が居ない場合や、ご子息に負担をかけたくない等、お墓じまいに関する相談が増えております。ご先祖様のご遺骨は、浦和霊園の合同供養墓「阿字の古里（あじのふるさと）」への改葬も可能です。

まずはお気軽にご相談下さい。墓地、墓石に関するご相談は、浦和霊園事務所まで。

☎048 812 1121

今後の行事予定

○合同慰霊祭

7月13日（日）
11時～

8月13日（水）
11時～

○送り火の夕べ

8月15日（金）
17時半～



浦和霊園だより

VOL. 31

令和7年6月号

TEL 048-812-1121

FAX 048-878-7272

編集者

副住職 三浦清志

ご挨拶



おまついん 大松院住職

小林智観

梅雨の候、紫陽花の彩りも美しい季節となりました。皆さまにおかれましては、日々お健やかに過ごすごしのこととお慶び申し上げます。今年も折り返しを迎えようとしておりますが、あらためて日々のご縁と安寧に感謝したいものです。

さて、先日、東大寺で行われた「千僧法要」に出仕するため、奈良を訪れました。大仏殿に宗派を超えて多数の僧侶が集い、仏さまからいただいた恩恵に感謝を捧げるとともに、すべての命の安らぎと世界の平和を祈るこの法要は、まさに荘厳で、素晴らしいものでした。

法要の前日には奈良入りし、かねてより訪れたいと願っていた法隆寺を参拝いたしました。飛鳥時代の面影を今に伝える境内の中を歩きながら聖徳太子の時代に思いを馳せておりますと、ふと御朱印の授与所に目がとまり、御朱印をいただきました。そこに記されていたのは、「以和為尊（和を以て尊しと為す）」の言葉でした。申すまでもなく、これは聖徳太子が制定され

た十七条憲法の第一条に記された、非常に有名な言葉です。通常、御朱印の中央には仏さまの御名が記されていることが多いのですが、太子の御名ではなく、その言葉が書かれていたことに驚きとともに深い感慨を覚えました。しかもそれが翌日に世界の平和と安寧を祈る「千僧法要」を前に授けられたことは、まるで太子の願いがその一枚にこもっているかのような不思議な感覚を伴い、この言葉を改めて深くかみしめるきっかけとなりました。

仏教における「和」は、単に争いを避けるということではありません。他者を認め、自分の考えや立場に固執せず、違いを受け入れながら共に調和を目指す姿勢を意味します。これは「空」という仏教の根本思想とも深く結びついていきます。「空」とは、私たち一人ひとりが決して独立して存在しているのではなく、すべての他者との関係性の中で成り立っており、固定的な本質を持たないという教えです。「自分」というものにこだわらず、すべては支え合って生きていると気づくこと。「自分と違う」からといって排除するのではなく、違いを認め合い、共に生きていく道を探ること。この理解の中にこそ、本当の「和」が育まれていくのではないのでしょうか。

世界に目を向ければ、依然として戦争や紛争が絶えず、「自国ファースト」「自分ファースト」といった排他的な姿勢が顕著です。

あるいは、私たちのごく日常の生活においても、家庭や職場、地域社会など、価値観の違いや立

場の違いから対立が生まれたり、対話がすれ違ってしまったたりすることがあります。自分の正しさを主張するあまり、他者を受け入れる余地を失ってしまうような場面も、少なくないかもしれません。そうした中で、仏教の教えや、聖徳太子のこの言葉は、私たちに深い示唆を与えてくれます。たとえ考え方が違っても、相手を理解しようとする心、自他の違いを超えて調和を大切にすること。それは、現代社会にこそ必要とされる「智慧」と言えるでしょう。

梅雨の静けさの中で、聖徳太子の「以和為尊」の教えにあらためて向き合い、自分自身の心の在り方を見つめ直すとき、仏の道は決して遠くではなく、すぐ足元にあるのだと気づかれます。

どうぞ皆さまの日々が、「和」の心に支えられた安らぎのある時間となり、お健やかに過ごしてくださいませよう、心よりお祈り申し上げます。

合 掌

暮らしの中の仏教用語

「演説」（えんぜつ）

世間では、参議院選挙が予定されており、これからあちこちで街頭演説が行われるかと思われます。演説と聞くと、いわゆる政治家が民衆に向けて自分の政策や公約を述べることと思われがちですが、本来は、仏法を説くこと、または仏の教えを述べることを意味します。法を説くということとは、世の真理を話すことであります。

なかなか究極の真理を悟り、人にお伝えしていくことは大変でありますが、そのようにありたいと願うばかりです。



十三仏について ⑥

十三仏とは、初七日忌から三十三回忌までの間、故人を守護し、お導きくださる仏様です。故人は各忌日ごとに配された十三の仏様の功德をいただきながら、最終的には仏様となって子孫を守ると考えられています。その十三仏についてシリーズでお話させていただきます。



十三仏

【七々日忌 薬師如来】
今回は、七々日忌の御本尊「薬師如来」です。薬師如来のお姿は、右手に施無畏の印（恐れを取り除くの意）を結び、左手に薬壺をお持ちになっています。つまり、人々に安らぎと勇気を与え、また病気の苦しみを取り除くというお誓いを示しておられます。薬壺は瑠璃という宝石で作られていることから、別名を薬師瑠璃光如来とも申します。また、東方の浄土の主として、現世利益の仏さまとしても信仰を集めています。



薬師如来

回忌においては、七々日忌のご本尊さまとして亡き人の為にお力を注いで下さります。初七日忌から一週間ごとに様々な仏さまにお守り頂き修行を重ねていきますが、七々日忌にお薬師様のご誓願によって、いろいろな障りを取り除いてくださるのです。これは私見ですが、薬師如来が七々日忌に配当され、満中陰（中陰が明けること）の時にご供養されるのは、東方浄土にあつて、日が昇る方位にあり、そこから次の生の始まりを連想するからではないかと思えます。いずれにしても、薬師如来は、全ての人を救うことを誓って、人々の心身の病や苦悩を取り除き、正しく生きる勇気を下さる仏さまなのです。

三浦清志 記

（次回 百か日忌 観音菩薩へ続く）



瑠璃
(ラピスラズリ)

節分祭のご報告

去る1月26日（日）11時より、毎年恒例の節分追儼式（豆まき）を行いました。新年を迎えられ、一年を無事に過ごせましたようにと大勢の方々と一緒に楽しく豆まきをすることができました。近年は、家庭で豆まきをする声もあまり聞こえなくなったような気がします。日本の古来からの伝統を皆様と共に、これからも行っていきたいと思えます。来年もたくさんの方のご参加をお待ち申し上げます。



合同慰霊祭のご案内

霊園の二大行事の一つであります「送り火の夕べ」とお盆における新盆精霊・ご先祖様のご供養の法要「合同慰霊祭」のご案内です。一年に一度、ご先祖様がお帰りになる時に、皆様と一緒にご供養できればと思います。ご参加をお待ちしております。

◆合同慰霊祭

日時 7月13日（日）11時
8月13日（水）11時
場所 霊園会館二階 礼拝堂にて
参加費 一霊につき 金5千円

※当日、ご供養されたい方の位牌をお持ちください。
※お申し込みは、同封しました申込用紙にて管理事務所までお持ちいただくかFAXにてお願い申し上げます。
※ご希望のご家庭には戸別にお伺いする「柵経」（たなぎよう）もお勤め致しますので、お問い合わせください。

◆送り火の夕べ

日時 8月15日（金）
法要・法話 17時半 霊園会館二階 礼拝堂
お焚き上げ 18時半 霊園第二駐車場
参加費 無料

※精霊舟のお申込みは、事前予約制 金三千元
※お申し込みは、同封しました申込用紙にて管理事務所までお持ちいただくかFAXにてお願い申し上げます。
TEL 048-812-1121

もしもの時は…

もし、大切なご家族にご不幸があつた時は、まずは、霊園管理事務所に ご相談ください。ご葬儀の手配やご葬儀後の手続きなどについてご案内致します。また、生前戒名のご希望や、葬儀は俗名で行ったが、戒名を授与してほしいなど、ご供養に関するお問い合わせも受け付けております。まずは、お気軽にご相談ください。

お問い合わせは管理事務所まで。



ご詠歌で健康に！仲間募集中！

ご先祖様の供養ために、また、ご自身の信仰を深めるために、ご詠歌をお唱えしてみませんか？ 唄うことは、のどが鍛えられ、肺活量が増えます。ひとつの健康法になることでしょ。現在、月に一度 5名のお仲間と楽しく本院 大松院にて練習会をしています。ご希望の方があれば、霊園でも開催したいと考えています。興味ある方は、一度聞いただけでも結構です。お気軽にお問い合わせください。

◇問い合わせ先 管理事務所

担当 三浦清志



副住職の修行体験記

去る5月14日 山梨県 三つ峠山に登拝して参りました。三つ峠山は、開運山 御巢鷹山 木無山の三つの峰の総称です。標高は「789メートル」。登山道の途中からは富士山を眺める事が出来ました。古くは修験道の行場として多くの行者さんが登拝されたそうです。現在は、屏風岩と言われるところが、ロッククライミングの聖地にもなっているようで、当日もロープを使って登っている方にも遭遇しました。そこから羅漢地山（弥三郎岳）にもお参りし、帰りの道は、昇仙峡ロープウェイの脇を降りて、清らかな流れを見ながら、羅漢寺にも参拝し、たくさん手を合わせる機会の多いお参りでした。7月には、いよいよ金峯山寺蓮華奉獻入峯になります。ご修行させていただきます。ありがとうございます。

